

第三者評価を受審した感想 (事業者コメント)

事業所名 羽根木こども園

受審理由について

平成19年4月1日に幼保連携型の認定こども園として開園して6年目を迎えました。この度、当園を客観的に評価していただき、課題を明確にし、問題解決をすることで今後の保育サービスの質の向上につなげたいと考え今回の受審に至りました。保護者の皆様にはアンケートで貴重なご意見をいただきありがとうございました。

評価結果について

全体の評価講評で、「特に良いと思う点」として、

- ① 子育て支援に積極的に取り組み、地域の方々に喜ばれている
- ② 保育内容では、子ども主体の保育になり子どもにとってより良い保育をめざし、保育者の研修も増やし、保育・保育者の質の向上に取り組み園内改革が進んだ点、それに伴い
- ③ 教育・保育課程もより地域の実態を捉え反映したものになっている

以上の様に高評価をいただきました。

また、「さらなる改善が望まれる」点として、

- ① 就学へのスムーズな移行が出来る様、年長組園児の生活する姿を見つめ直し一層の指導の工夫
- ② 職員のやる気向上を図るための人事考課表の整備
- ③ 絵本コーナーの設置場所、設置の仕方の見直し

以上の3点について指摘を受けましたが、①の年長組の生活の姿も、昨年度は保育者主導型から園児主体の保育への移行期という事で、園児の姿に落ち着きの無さが目立った事もあります。今年度は、昨年度の経験の積み重ねから園児の姿も落ち着き、生活する姿にも成長の姿、落ち着きを感じられる様になりました。②の人事考課表の整備につきましては、社会保険労務士に協力を仰ぎ整備を進めております。③の絵本コーナーについては、玄関前の空きスペースを利用し、本棚・園児用ソファ・机を設置し、季節やその時々園児が興味を示している園本を用意し、いつでも見られる環境を整えました。

今後の展望

日本の幼児教育界も、「総合こども園法案」「子ども・子育て支援法案」等々閣議決定し、2015年には新たな変革が予想されます。当園は、他園に先駆け「幼保連携型こども園」として6年目を迎えましたが、子ども達には、友達と生活を共にする中で、自ら課題を見つけ、最後まで取り組む根気強さと集中力、友達を思いやる心、そしてこれらを通し「生きる力の基礎」を培かい育ててまいります。

また、地域の親子が気軽に集える機会を多く提供し、子育て支援の拠点としての役割をしっかりと果たしてまいります。